

—みなさん、台湾研修お疲れ様でした。
今日は台湾研修を振り返って、みなさんに感想や意見をきいていきたいと思います。
まずは、この研修になぜ参加しようと思ったのかについて。

(a) 知らない場所に行くのが好きで、大学生のうちに旅行じゃなくて研修として海外に行きたかったんです。台湾を選んだのは、ご飯が美味しそうだったから。

(b) 海外に行ったことがなかったので、ずっと行ってみたいと思ってました。家族が台湾に行ったことがあって、人が温かくて行きやすい場所だよと聞いていたので、参加することにしました。

(d) 一回は海外に行ってみたくて、台湾はあまりハードルが高くないと、授業の中で研修の紹介があって聞いたので。親日国だし、すごく遠いわけでもないから。

(c) 社会人になってから海外に1週間も行くのって難しいと聞いていたし、大学生のうちに研修を使って海外を経験しときたいと思ったから。そう思っていた時に、この研修の情報が来たので。

(g) 春セメに中国語の授業を受けて、中国語に興味を持ったんです。そこに台湾の研修の案内があったので、せっかく勉強してるし、参加して使ってみたくて。

(i) 大学卒業するまでに1回でも海外に行ってみたくて気持ちが強くて、また就職予定先でも海外の人と接する機会が多くなりそうなので、将来役に立ちそうだと思って参加しました。中国語も勉強してきたし、国際センターの方にも初めて行くのに参加しやすいと勧められたので台湾にしました。

(e) 私も中国語を学習して、もっと勉強したいなと思っていて、ネイティブの会話とか発音に触れたいなと思って。

(f) 私も中国語を学んでいて、せっかく学んだことを活かしたいし、実際の文化とか食べ物とか言葉とか環境に触れてみたいなと思って行くのを決めました。

(h) 先生に研修を紹介されて、海外に行ってみたくてというのもあったし、中国語を勉強するモチベーションもあったので、初めての海外に台湾がいいというのもあって、中国語を勉強できたらいいなと思って。

—行く直前はどのような気持ちでした？

(d) 知らないところだし、国外だし、不安なことはいっぱいありました。

(f) 食べ物が合うかとか、水が硬水だと聞いて合うのか不安でした。実際には全然大丈夫でした。

(g) 知り合いが参加者に全くいなくて、日本人メンバーと仲良くやっていけるかが不安でした。向こうでの学生との交流とか、そこで本当に打ち解けるのかなというの不安でした。いざ行ったら向こうの学生がすごく積極的だったので良かったですけど。

(b) 参加者に友人がいなかったのが不安でした。向こうでの生活についてはなんとかかなかなと。

(a) 台湾には行ってみたいけど、現地の学生とコミュニケーションとって勉強するっていうのにはあまり乗り気じゃなかったです。言葉も通じないし、難しいんじゃないかって。行ってみたらみんなフレンドリーだし、人と話すことへの抵抗感がなくなったなあって思います。

(i) ジブリが好きなので、九份の夜景を見るのが楽しみでした。

—実際台湾に行って、敏実科技大学で色々なプログラムがありましたけど、一番印象に残っているプログラムは何でしたか？

(e) サイエンスパーク。全然知識なかったんですけど、すごい説明が分かりやすく、これだけのものが全て台湾で開発されているなんてすごいなと思いました。

(f) バーベキュー。材料が想像していたものと違って、初めて見た材料がありました。それまでに1回会っただけの向こうの学生が話しかけてきてくれたり、写真撮ろうって言ってくれたり、フレンドリーに接してくれた学生が多かったのは嬉しかった。

(g) AI 学習と交流。向こうの学生との初めての交流だったんですけど、いきなりすごく距離感を詰められて、すごい積極的なんだなと思いました。

(h) 中国語の授業。ネイティブの人から発音とか勉強できるのはすごくいい機会だなと思いました。先生がいつもいるわけではないから、学生とのコミュニケーションが必要になってくるので、その機会がもらえたのが嬉しかった。たまに単語とかで言っていることがわかったら嬉しかったし、英語や翻訳ツールを使ってコミュニケーショ

ンをとりました。

(a) 工業研究院。難しくてわからなかったんですけど、劉先生が一生懸命説明しようとしてくれて、台湾でこんなに色々なことをやっているなんて知らなかったの、面白かったです。

(b) 私も劉先生が日本語で一生懸命説明してくれていたのがすごく印象に残ってます。一番の思い出かも。

(i) 料理。コックの先生の技が凄すぎて。見入ってしまった。美味しかったです。最後に水餃子の蒸す工程をやらせてもらったんですけど、やり切った後の達成感がすごかった。

(b) 料理です。飲食店でバイトしているので、衛生面の違いが印象に残っていますし、中華鍋での調理は初体験だったので。重くて難しかったです。向こうの学生がすごく手際よく色々やってくれてすごいなど。美味しかったし、向こうの学生とLINEや翻訳機でコミュニケーションとりながらやれて楽しかった。

(c) 向こうの学生たちと行った夜市。頼んでないけどみんなの分買ってきてくれて色々なものを奢ってくれて、日本にはそういう文化はないのでびっくりしました。

(d) 料理。あんなちゃんとした中華鍋使うのも初めてだし、知らない調味料もたくさん出てきたし、餃子の包み方も日本とは違って、火力も強いし、迫力があって、初めてのことがいっぱいでした。

—他に向こうの大学でのことで何か感じたことなどありましたか？

(g) AI 学習の時に知り合った学生が、夜市を回るときにバイクの後ろに乗せてくれて、すごいスピードで走ったのでびっくりしました。すごい経験でした。

(a) 大学で犬が放し飼いされていた話を母にした時に、その犬が問題起こしちゃったらどうするんだろうねと言われて、日本だと危ないとか言われてされないことも、台湾では気にせずやるんだなと思いました。

(b) バーベキューの時の盛り上がり。ワイワイして、カラオケやりたい人はやって！みたいなのは日本ではあまりない感じで楽しかったです。

—台北での活動はいかがでしたか？

(e) どこに行っても日本語が聞こえるし、

日本語のメニューもあるし、日本人だとわかると日本語で話しかけてくれる。日本ではあまりこちらから中国語で話しかけることがないので、もっと日本でも接客を学ぶといいと思いました。

(b) 台北 101 の展望台で、地震や風が強い時に重心を保つための振り子？のようなものをみて、それが気に入りました。

(g) 九份に行ったんですけど、聞こえてくるのがほとんど日本語でした。九份では凍頂烏龍茶を飲みました。お茶を淹れるのに色々工程があって初めて経験しました。

(a) 九份と十份にバスツアーで行ったんですけど、ガイドさんがすごく日本語上手で色々な話をしてくれました。台湾人はこちらだよという豆知識とか、一青窠のおじいちゃんの話とか色々してくれました。それから敏実科技の学生が1人わざわざ九份に来て、十份で一緒にランタンをあげました。すごいびっくりしました。

(f) 私たちのところにも自由行動の2日目に敏実科技大学から2人学生が来てくれて案内してくれたんです。知り合ってたのに、すごい有難いなという思い出です。

—実際に台湾に来てみての印象は？

(g) 海外って掃除が行き届いてなくて汚いというイメージがあったんですけど、MRTとかすごく綺麗で、ホームドアもあって安全対策もしっかりとってるなと思いました。

(i) 全体的に台湾の学生がフレンドリーで、コミュニケーションの取り方とか学ぶことがとても多かったです。

(a) あったかい気候だからみんな陽気なのかなと思いました。私の母が沖縄出身なんですけど、沖縄の人たちと勢いとかテンションとか優しい感じとかが似ているなと思いました。

(d) 台湾の人がすごく優しく、免税店についてくれた人が色々教えてくれたり、たくさん試食させてくれたり、お茶を飲ませてくれたり、とても親切にしてくれました。

(c) 免税店でこうしたら安くなるとか、館内の店について教えてくれたり、とにかくすごく親切だなと思いました。

(h) 日本語、日本語の看板、日本語のメニューなどたくさん目にして、そうすると少し安心しました。今回の研修でたくさん向

台湾研修を終えて～研修参加者座談会 1

この学生と SNS で繋がったので、これからも交流を続けられたらいいなと思いました。

(b) 学生がみんなわかりやすく英語を使っている、無理に文を作ろうとしなくても単語だけでも伝えられるんだと思いました。もっと英語とか勉強したいって。翻訳機とかだともどかしくなっちゃって。

—最後に、今後台湾への研修に行こうかなと迷っている人に。

(e) 自分たちで旅行に行くのとは違って制限される部分もあるけど、それ以上に旅行では行けない場所とか、学生との交流とか、研修ならではのと思うので、行けたのは価値があるなと思います。

(i) 海外に行くのは不安な人もいるかと思

うんですけど、台湾は親日とかもあって、そこまで不安を感じなくても大丈夫かなと思います。日本語の看板とか日本語も聞こえてくるので、不安で迷っている人は大丈夫だよと言いたいです。

(c) 観光で行ったらお店の人ぐらいとしか関われないかもしれないけど、研修で行ったら同じぐらいの年齢の人と友達になれたりするから、そういう願いがあるなら、行ったほうがいいと思います。

(b) 絶対行ったほうがいいと思う。文化の違いとかを知れて、自分が狭い世界の中で生きてたんだなってわかる。恥ずかしがらずに自分を出す向こうの学生の姿に刺激を受けました。

(2024年9月19日)

研修参加者 A グループ、B グループ

a 人間科学部心理学科 2年

b 人間科学部心理学科 3年

c 総合政策学部経営学科 1年

d 総合政策学部経営学科 1年

e 人間科学部コミュニケーション学科 4年

f 総合政策学部法律行政学科 3年

g 人間科学部心理学科 1年

h 人間科学部心理学科 2年

i 人間科学部コミュニケーション学科 4年